GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 2007-2008



街の芸術家【撮影 江崎 柳節】

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760
国際ロータリー第2760地区ガバナー　江崎 柳節

ガバナー月信 No.5

ロータリーは
分かちあいの心

2007～2008年度
国際ロータリーのテーマ

ガバナーメッセージ ……2
ロータリー財団月間に寄せて ……4
ガバナー公式訪問報告 ……9
2008～2009年度（片山年度）ガバナー補佐紹介 …12
2008～2009年度 地区スタッフ決定 ……13
2007～2008年度　第2760地区委員長会議 ……15
米山学友会（愛知）総会及びトヨタ自動車工場見学会 ……19
(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース ……19
地区大会のご案内 ……20
会議開催のお知らせ・GSEメンバー表 ……21
インターネット速報・文庫通信 ……22
会員出席率報告（9月分） ……23

11月
2007年11月1日発行

One Difference 違いをもたらそう
2007～2008年度
国際ロータリー第2760地区のテーマ



Governor Message

ロータリーに於ける奉仕

クラブ会長各位
クラブ幹事各位

この号が出来上がる頃には難関であったクラブ公式訪問も一通り済まさせていただいているかと存じます。81クラブを51回の例会に纏めさせていただき、酷暑の７月31日から始めました。とくに合同例会を余儀なくさせていただいた主幹クラブには大変なお骨折りをお掛けしました。いずれのクラブもそれぞれの信念と文化と誇りをお持ちになっていて素晴らしい体験をさせていただきました。いわばカルチャーショックの連続で御座いました。各クラブの会長・幹事さんはじめ会員の皆様にあらためてお礼申し上げます。また「百万＄の例会食」はことによると可成りの御迷惑をクラブにお掛けした事になったようにも思えます。ロータリアンの真心と友情に免じてご理解いただきたいと存じます。何処へ参りましても必ず検討課題になったのはやはりクラブリーダーシッププラン（以下CLP）でした。これは以下の理由で各クラブがCLPについて了解をしていないとクラブの今後の運営に遅れをとる可能性があると確信しているからであります。

１）今までにない、クラブの現状の分析（棚卸し）と計量的な点検が出来る。
２）２年前から会長要覧はCLPに準拠したバージョンである。世界的な情報が理解できなくなる。
３）これに照らしてクラブの現状と次年度以降のビジョンを考えることでクラブ管理運営に対して連続性と全員の参加意識が出来てくる。
４）クラブ委員会機構の統廃合はあってもよいがそれよりも委員会活動の今日的再検討の方にチェックの目がほしい。楽しみながら出来るチェックの５項目がCLPである。

さて、クラブリーダーシッププラン（以後CLP）で提案されている問題点の一つが“奉仕プロジェクトの再評価”ではないでしょうか。ここで云う奉仕とはおもに社会奉仕と国際奉仕についてであります。前号でも申しましたが奉仕プロジェクトに職業奉仕について詳述されていないのは、これの軽視でも何でもなく職業奉仕、クラブ奉仕などロータリーに於ける本質的な方法論はクラブレベルの改善のチェックポイントであるCLPにて論ずることではないのです。あらためて今年４月に規定審議会ではRI理事提案として四大奉仕がRI定款（標準ロータリークラブ定款）に制定案07-29として採択されました。このRI理事会の立法案提出、採択においては、日本からのRI直前理事重田政信氏の指導的役割によるものであることを記憶に止めたいと思います。（＊制定案07-29は文末に記載）

奉仕プロジェクトを社会奉仕と国際奉仕に限って検討が求められているのには次のような問題点があるからであろうとおもわれます。一つには両方共に、ロータリーが対外的に展開する奉仕の方法論であり、真のニーズにあった奉仕が行われているかどうかと云うことと、既存の団体、行政等のプロジェクトに対して単なる協賛、支援、援助だけに終わっていないかどうかということの点検が必要であろうと思われます。

つまりマンネリのまま漫然と続けられてはいないか、単なる資金提供の協賛に終わっていないかのチェックを時にはしてみようと云っているのであります。社会奉仕はクラブがその属する地域に対して行おうとする本当の必要性または必然性が認められる（ニーズが一致する）奉仕を探し出すことがなかなか難しい事なのであります。そこで必然的に各種の団体などから所望される協力金を提供することになってしまうのではないかと思われます。

ずっしりと重い市の奨学金が授与される際に、協賛としてロータリーと書いた5,000円の図書券を市長の横で奨学金一封の上に差し出した時の無力感は忘れられない事でした。こんな事ならば１名でよいから“ロータリー奨学生”を独立して選定し奨学金を差し上げたかったと今でも思います。

本来ロータリーには極めて魅力的なプログラムが用意されています。社会奉仕部門ではロータリー地域社会共同隊（RCC）、新世代奉仕プロジェクト（インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者育成プログラム（RYLA）、環境保全、危機下の児童擁護、都市部の関心事項などがテーマと共に部門別資料、実例集等から学ぶことが出来ます。ロータリーは施すことではない。奉仕の量の問題でもない。クラブの実力に叶った奉仕の理念と質と汗であってほしいものです。

国際奉仕の部門も新しく奉仕をクラブで見つけたり開拓しようとする事は必ずしも容易な事ではありません。そのニーズを探すことは、しばしばクラブの調査能力を超える問題に発展することになろうとおもわれます。それだからロータリーにはプロジェクトが用意されているのです。魅力的なプログラムは第一番に“青少年交換”でしょう。クラブによっては30年以上も続

プロジェクトの方法論

国際ロータリー2760地区ガバナー　江　崎　柳　節

けていて毎年世界の各地で多くのものを吸収した素晴らしい新世代が地域にうまれて行くことにロータリーのマジックを感じながら成果を続けているクラブも少なからずあります。提携先の海外クラブを持っている場合は相手のクラブの地域に求められるニーズが解れば援助してあげることは有意義なことであります。これは世界社会奉仕（WCS）と言われる今最も注目されているプログラムであります。他にはロータリー友情交換、ロータリーボランティアなどがあり国際奉仕委員会にお話をお聞き下さるとよいアイデアが提供されると思います。

ロータリー財団も魅力的なプログラムをそろえています。まず、いま当地区では急速に理解され関心を持たれているプログラムは“地区補助金”制度です。ここでロータリー財団の資金の流れについて骨組みを申し上げておきましょう。

2760地区の会員が寄進したロータリー財団寄付金は一括して“国際ロータリーのロータリー財団”に贈られます。寄付金には年次寄付金と恒久基金とがあります。3年後に年次寄付金のうちの50％が地区財団活動資金（DDF）として地区に返されてきます。残る半分は国際財団活動資金（WF）として世界的なレベルの教育的、人道的プログラムの活動財源として使われます。これも使途は各クラブにはっきりと報告されてきます。さて地区にはこのほかに“恒久基金”として会員が寄進している資金があります。これは恒久的財源として備蓄されるものですが、毎年これの運用益の50％がやはりDDFとWFに分配されて返還金に加算されます。

こうして得られたDDFは国際親善奨学制度、マッチング・グラント補助金、研究グループ交換（GSE）の助成金として使われますが、そのDDFの20％は地区補助金としてクラブの奉仕資金としてプロジェクトの計画書と共に地区の同名委員会で申請審査されクラブが受けることが出来ます。クラブレベルの奉仕活動が財源難に苦しむ今日、会長幹事殿には関心を持っていただきたい制度で御座います。その他特に海外クラブとの大型協同プロジェクトに対しては、マッチング・グラントという補助金制度がありますのでご研究下さい。ロータリー財団のプログラムには他に国際親善奨学制度があります。地域内の大学生、大学院生、職業上の研究を希望する人を発掘しクラブから地区に推薦して下さると近未来の指導的国際人をクラブで育成することが出来ます。GSEは今年もフランスのローヌ・アルプ・モンンブラン地区と交換を致します。次年度はカナダになるかと思いますが若い専門家を交換してそれぞれの地区で専門分野に応じた固有の文化、制度、技術などを学ばせることが出来ます。人材を見つけて推薦して下さい。

奉仕は云うまでもなくロータリーの主目的です。これがない仲良し団体では今や高い志に燃える若いロータリアンをクラブにつなぎ止める事は出来ません。退会の原因、会員維持の困難な原因はいまでは社会情勢の悪化ではないと思われています。３大原因は❶クラブに指導性がない。❷クラブに魅力がない。❸志をもって入ったがクラブに奉仕のプロジェクトがない。ということであるとRIは検証しております。ぜひ心したいところです。

奉仕はただ施すことではありません。“ロータリーの綱領”を思い出して下さい。理念や理想を示しているものではないことに気がつきます。ロータリーは実践哲学です。“飢えている人に魚を一匹差し上げればその人の飢えは満たされます。その人に魚を採る術を教えてあげればその人は一生飢えから救われます”。

＊制定案07-29　標準ロータリー・クラフブ定款に四大奉仕部門を含める件

提案者：RI理事会

標準ロータリー・クラブ定款を次のように改正する（手続要覧第231ページ）。

第５条　四大奉仕部門

ロータリーの四大奉仕部門は、本ロータリー・クラブの業務の哲学的および実際的な規準である。

１．奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動である。

２．奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理想を生かしていくという目的を持つ。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うことが含まれる。

３．ロータリーの第三奉仕部門である社会奉仕は、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を向上させるために、時には、他の人々と提携してロータリアンが行うさまざまな活動から成る。

４．ロータリーの第四奉仕部門である国際奉仕は、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成る。このような推進は、読書や文通、さらには、他国の人々を助けるクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々との文化、慣習、業績、願望、問題に対する認識を培うことによって行われる。

ロータリー財団月間に寄せて



ロータリー財団委員会委員長　深　谷　友　尋

本年度の当地区ロータリー財団委員会事業計画は2004年規定審議会で「Every Rotarian、Every Year」毎年あなたも100ドルの年次寄付（ポール・ハリスフェロー、ポール・ハリスソサエテイー等）と恒久的基金の確立のための恒久基金プログラム（ベネファクター、大口寄付者）をお願いし、各クラブへの理解と広報を第一に考え、初めて財団月間（11月）中81クラブすべてのクラブへロータリー財団委員による卓話を行います。

ロータリー財団はプログラムの意味が良くわからない、理解できない、不透明である、などロータリアンよりこのようなご意見が過去寄せられておりました。

近年RIロータリー財団は監査制度やより解りやすいプログラムを決議され、地区へのより透明度の高いプログラムになりました。

当地区も監査制度を導入し、基金の使途をより明確化にし、一層確実なものにしてまいりました。

また、地区内クラブへの貢献として、新たに設けられました（2003～2004年）

プログラムの一つに地区補助金制度があります、各クラブと地域との奉仕活動にDDFの20％が地区活動に使われております。

また、地区内クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕各委員会との協力と情報交換を深め、より良いロータリー活動が実践に努めます。

ロータリー財団委員会は地域レベル、全国レベル、世界レベルの人道的、教育的プログラムを通じて、世界の平和を達成するために、国際ロータリーの活動と努力を支援することであります。

ロータリー財団はただの金集めではなく、各ロータリークラブが行うすべての奉仕活動を支援するために、必要な資源であります。

ウィルフレッドJ・ウィルキンソンRI会長はロータリーでいう「分かちあい」とは、自分に必要でないものを人にあげる、という意味ではありません。

ロータリーでの「分かちあい」とは、あなた自身を惜しげなく、人にとって役立つことのために捧げることである。

また、保健、識字率向上、水、ロータリー家族という今年度の強調事項を通して、私たちはとても広い範囲の奉仕の機会を持つことになります、と述べておられます。

ロータリー財団はそうした奉仕プロジェクトや活動をサポートするためにあります。

サポートするためには財団は常に適度な資金が必要です。

是非、ロータリアンとしての誇りを持ち、ご支援をお願い申し上げます　11月は、ロータリー財団月間です。今一度、ロータリー財団の意義をご理解いただき年次寄付をお願いいたします。

ロータリー財団月間に寄せて

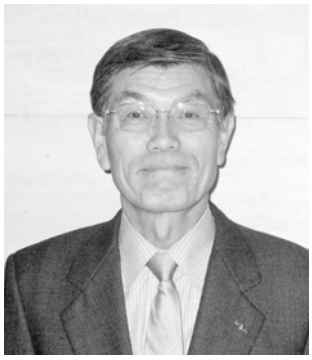


財団年次寄付委員会委員長　吉　川　正　敏

年次寄付委員会の活動方針は、(1)「毎年あなたも100ドルを」の促進です。全会員が実行し、ご協力いただくことをお願いします。(2)ポール・ハリス・ソサエティへの入会促進です。これは、ロータリー財団に毎年1,000ドル以上寄付する方がポール・ハリス・ソサエティの会員資格を有します。今年度の2760地区目標は５名であります。(3)ロータリークレジットカードへの加入促進です。現時点で日本全国で5,000名のカード保有者がみえカード会社からロータリ財団へ0.3％の寄付をいただけます。当地区でも、加入者を促進したいと思います。

年次寄付とは、ロータリー財団には三つの寄付があります。恒久基金、使途指定、そして年次寄付です。その年次寄付とは、一人のロータリアンが毎年100ドルの寄付をするということであります。2004年規定審議会におきまして、EVERY ROTARIAN EVERY YEAR（毎年あなたも100ドルを）を推進するよう決議されました。従いまして、寄付総額を会員数で割ったものではないという点にご留意ください。この年次寄付は３年後のプログラムにその寄付金が使われしかもそのうちの50％がDDF（地区補助金）として直接地区で活用できる性格をもった寄付です。

年次寄付委員会活動についてご説明します。背景としてRCの活動は外部から見ると、国際的にも国内的にも、財団の活動が８割くらいの印象を占める、といっても過言ではありません。その活動を支える財政的な基盤が年次寄付といえます。年次寄付の主な使途は、年次寄付の本年度寄付は３年後の年次プログラム基金として使われます。国際財団活動資金として50％、地区財団活動資金として50％が使用出来ます。地区財団活動資金の内容は、地区補助金・国際親善奨学金・GSE・他となっています。地区補助金は、地域振興や、経済的に恵まれない人々の生活を向上させるために、各地区が地元地域社会および国際レベルで行う人道的プロジェクトに、地区財団活動資金（DDF）を使うことを認めるものです。各ロータリークラブからエントリーされた事業に配分します。恒久基金は、年次寄付と恒久基金寄付は同時に重要であり両方でお互いに補い合っています。年次寄付は今日の財団プログラムを支え、恒久基金は明日へのプログラムを安定したものにします。恒久基金への寄付の元金は決して使いません。投資してその収益を財団プログラムの支援に使います。通常1000ドルの寄付者はベネファクターとしてバッジと表彰状を受け取ることができます。当地区の目標は毎年各クラブ１名以上のベネファクターを出して頂くことになっていますが、残念ながらまだベネファクターのいないクラブも有ります。



恒久基金委員会委員長　朱　宮　新　治

今年度も、年次寄付のパンフレットを作成致しました。ビジュアルでわかりやすいパンフレットですので、ぜひご覧いただき年次寄付をご理解いただき「毎年あなたも100ドル」の寄付をよろしくお願い申し上げます。

ロータリー財団の活力は、どんな時にも積極的に労苦を費やし、資金面においても寛大な寄付を行うロータリアンの熱意ある支援にあります。この支援こそロータリー財団の色々なプログラムを推進する礎になっています。

又恒久基金は元金を使用せず利息でプログラムを安定化しています。通常寄付額が１千ドルになりますとベネファクター、１万ドルになりますと大口寄付者として認証されます。2006/9/30時点でR1の財団の恒久基金累計額は１億8340万ドルあり、収益や誓約の額が３億2190万ドルで総額５億530万ドルになっています。地区が利用できる運用収益は2007/2008年度で21.092ドル、2008/2009年度で24.590ドルもあります。R1では毎年各クラブ、ベネファクター２名、大口寄付者地区２名の誕生の目標を掲げていますが、地区では毎年それぞれ１名の目標をもっています。今年度に入ってベネファクター３名、大口寄付者１名の誕生があります。是非ロータリー財団への拠金活動に深いご理解を持って頂き、各クラブに於かれまして積極的に活動して頂きます様お願いします。

日本のベネファクター	会員数	大口寄付者数
2007/6/30	20502名	755名
2007/8/31	762名	24名

ロータリー財団月間に寄せて



ポリオについて　当地区、ポリオ・プラスの活動方針

ポリオ・プラス委員会委員長　近　藤　　収

ロータリーは、1979年に初めてポリオのプロジェクトに携わりました。又、1980年代初めに、ロータリーは史上最も意欲的なプログラムを計画し始め、世界中の児童にポリオの予防接種をしようというプログラムから始まり、1985年にポリオ・プラス・プログラムを設け、ポリオと共にハシカ、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の五つをプラスして、同時追放を目的として、ポリオプラスと呼び、西暦2000年までにポリオを一掃し、その後2005年までにポリオの撲滅を証明することが採択されました。ポリオ撲滅とは、世界保健機関の定義と同じく野生株のポリオ・プラスの伝播をとめるという意味です。では現在2007年３月の症例数を見ますと、現在の世界は、ポリオ撲滅に近づいています。一部地域では、ポリオの野生株が残っています。だからこそ、ポリオ撲滅を果たさなければなりません。当地域におけるポリオ撲滅運動の反応としては、2005年度に至る３ヶ年、各クラブに寄付をお願いして参りました。各クラブ並びにロータリアンには、心より感謝を申し上げる次第です。しかしながら、R1が2005年（R1創立100周年）にポリオ完全撲滅宣言する予定であったのもかわらず、残念ながら達成できていないのが現状です。世界は、ポリオ撲滅を目前に、あと一歩の所まで来ています。当地区ポリオ・プラス委員会としての、本年度の計画はやはり、前年度果たせなかった、現地へ出向くことを最優先し、懸案である現地でのポリオワクチンの接種、又現実の姿、情報などを体験し、今後に少しでも貢献できることを、念頭にして参りたい。又、再度のお願いになりますが、各ロータリークラブ、ロータリアンの皆さまからのご寄付など、たゆまないご支援があれば、世界中の子供のために「ポリオのない世界」という最終目標を実現することができるでしょう。ご協力を重ねてお願い致します。



地区補助金委員会の活動方針

補助金委員会委員長　高　山　光　雄

今年度の地区補助委員会の活動方針として、対象プロジェクトの補助金額を少なくし、出来る限り多くのロータリークラブのプロジェクトに補助金をつけるように。

又、年次寄付１人当り100ドルを達成しているか否かを１つの判断基準とするという方針でご活動してきました。おかげさまにて、今年度は採用クラブが大幅に増加し19クラブになりました（昨年度は13クラブでした）。

補助金対象の条件は「ロータリー財団」の概要の23頁に17項目記載されている様に、地域振興や経済的に恵まれない人々の生活を向上させるためのものですが、以下の項目につき委員会で決定しました。

１．物品寄贈が主たる目的のプロジェクトは否定
２．周年記念行事は否定。但し、周年から分離した独自の事業は可。
３．行政の行事に協賛するためのものは不可
４．毎年継続している事業・補助金は１回だけは可。
５．多額の行事は金額の削除を考慮することができる。
６．財団年次寄付１人100＄に達しないクラブは消極的。

本年度は、10月にて補助金は満額となりましたので終了です。

次年度の申請の受付は、2008年３月頃から始まります。各クラブふるって申請の程宜しくお願い致します。

ロータリー財団月間に寄せて



「国際親善奨学金制度」の可能性と課題

財団奨学委員会委員長　ミカエル　カルマノ

若い人を世界へ送り出し、ロータリーの輪を広げ、世界平和に貢献することを目的とする「国際親善奨学金制度」は、継続することにより大きな力となりますので、「継続は力なり」という言葉があてはまります。この奨学金制度には次の３種類の奨学金があります。

（奨学生への応募に関しては、国際ロータリーのホームページに掲載しておりますが、語学の条件が厳しくなったことに注意ください。）

①　１学年国際親善奨学金…１年間（実質９ヶ月）の勉学のための留学

②　マルチイヤー２年国際親善奨学金…学位取得に向けた留学

③　３ヶ月国際親善奨学金…海外での文化研修

この奨学金制度による具体的な活動は、それぞれの奨学金の目的に従って行われております。

また、奨学生の選考は、１月中旬に募集要項および申請書を配布し、３月に各クラブで申請書を受付け、４月に各クラブでの選考を経て、５月に地区選考試験を行い奨学生の決定が行われます。その後、奨学生はガイダンスを受け、翌年７月の出発に向けて、顧問ロータリアンや先輩のアドバイスを受けながら準備を行います。

ところで、最近この奨学金制度への応募者が著しく減少し、地区の奨学金予算が余る状況が続いていることに憂慮しております。伝統あるこの奨学金制度のプログラムを継続しながら、原点に立ち返ってロータリーの奨学金制度はどのような社会貢献ができるかを今一度考えて見る必要があると思います。その一つには、国際親善奨学金制度の趣旨をもっと広く理解していただくために、より効果的な公募方法を検討することが必要であると考えます。しかし、選考過程において、ホストクラブ（特に顧問のロータリアン）が積極的に関わっていただくことが大切であると考えます。ロータリーは、単にお金を出すだけでなく、ホストクラブのロータリアンと奨学生として選ばれた若者に対し、国際親善に関わり、国際平和に貢献できるチャンスを与えることにあります。

ロータリーの国際的な組織と各ロータリアンは、そのもっているノウハウをフルに活かし、世界的な規模を誇る国際ロータリーのネットワークに関わっていけるというすばらしさを若い世代に示してほしいと思います。ご協力をお願いします。



研究グループ交換（GSE）について

研究グループ交換委員会委員長　矢　形　修　己

GSEは1965年に発足したロータリー財団の「国際交流プログラム」であります。

発足以来、100カ国以上から57,000人（約12,000チーム）が参加しています。その費用は9,200万ドルを超えています。2005～2006年度には543チームが参加するまでに発展しました。390万ドルの補助金が授与されています。このプログラムは年を追うごとに参加者が増え人気の高いひとつです。具体的には①国を異にする２つの地区がペアを組んでおこないます②メンバー構成はロータリアン以外で事業または専門職に携わる年齢25～40歳の選ばれた４名とリーダーのロータリアン１名を加えて編成、相手地区に派遣します。③派遣もしくは受入期間は４～６週間です。目的は異なった文化と職業の交流の場を提供する機会です。チームは派遣期間中、他国で同じ職業分野の参加活動、勉強、ホスト地区で歴史や文化を学ぶことにより異文化経験に浸りホストファミリーや地域社会の人々と親睦を深めます。また、クラブ例会やロータリー活動で日本の歴史と文化を通じ国際理解、親善、友好関係を高める手段のひとつとなります。

今年度はRI 第1780地区フランス・ローヌ・アルプ　モンブラン地区とのプログラムになります。概要は、47クラブ　1,655名の会員数の地区です。

・北にレマン湖、アヌシー湖を中心とする観光名所で有名
　ローヌ川からの運河を通じ、水の玄関でもある。観光産業　国立公園、国定公園など多い
・酪農業・林業・ワイン醸造・エコのすばらしい町でも有名

いよいよ、受入時期が迫ってきています。期間は2007年11月11日～12月７日

今年度は、西三河分区、南尾張分区、東名古屋分区、東尾張分区の皆様にガバナー補佐を中心にご協力を賜っております。RID1780GSEメンバーは別途（P21）に掲載しておきます。派遣につきましては、2008年4月12日～5月11日（R I第1780地区）。今年度派遣メンバーは適時の時期にご紹介申し上げます。成果は（派遣）国際経験が、社員、職員にとって貴重な資産となります。

国際的な視点を強化し、異文化や他の事業に携わっている人々との接触を通して、偏見にとらわれない考え方ができるようになります。外国の制度、文化、事業の習慣などについて広範囲にわたる研修をします。地域社会・国際社会における企業、社員のありかたなど再認識の場を提供します。（受入）ロータリアンまたその家族に国際交流の場所を提供いたします。教育、文化の違いなどさまざまな体験と経験をまた異なった生活様式、社会、経済環境、例会、企業訪問を通してすばらしい経験を得るでしょう。

ロータリー財団月間に寄せて



財団学友委員会委員長　大　嶽　岩　雄

11月はロータリー月間です。

国際ロータリー第2760地区ロータリー財団は深谷友尋ロータリー財団委員長のもと８つの小委員会があり、大別しますと寄付金を集める委員会３（年次寄付金、恒久基金委員会、ポリオ･プラス委員会)、寄付金を活用する委員会５（補助金委員会、財団奨学委員会、研究グループ交換（ＧＳＥ）委員会、世界平和フェローシップ委員会、財団学友委員会）があります。私の所属する財団学友委員会は５名の委員で構成され、主な活動としましては「教育的プログラム」の１つであります。ロータリー財団奨学生の留学までの「ガイダンス」、「オリエンテーション」、「壮行会」を開催し、また学友会（財団奨学生として外国で学問を修了した学生、研究グループ交換（ＧＳＥ）を修了したメンバー、ロータリー平和奨学生、大学教員の為のロータリーの補助金受領者で構成されている）の支援及び年１回の学友会総会時のお手伝い等があります。

学友数は現在（2007年７月末）世界で101,785人、日本では9,500人、当2760地区では401名の財団学友が活躍しています。日本で著名な方では元国連難民高等弁務官の緒方貞子さん、作家で教育家の牧野高吉博士、指揮者の松尾葉子さん、また最近では宇宙飛行士となる角野高子さんなどがみえます。

学友会のとくに財団奨学生の方達は（国際親善大使）として世界各国に留学され、それぞれの得意分野をさらに向上され活躍されてますが財団奨学生の皆様が各地区のロータリークラブに入会されりっぱなロータリアンになっていただけることを期待しています。



ロータリー世界平和フェローシップ委員会委員長　深　谷　友　尋

当地区でははじめて新設された委員会であり、現在はロータリー委員会の小委員会委員長が兼務の形でスタートしました。

活動目標は大変規模と理念は遠大な計画であり、手探りの状態はありますが、活動の使命は意義あるものである。

世界平和フェローシップはポール・ハリス没後50周年と教育的プログラム創設50周年を記念してスタートしました。

初期はポール・ハリス・センターとして設立計画を立てましたが、その後「紛争の解決と平和における国際問題研究のためのロータリー・センター」通常はロータリー・センターと呼び、2005年に世界奨学金（World Peace Scholarship）を世界平和フェローシップ（World　Peace　Fellowship）に改正した。

異なる地域の６大学で世界問題、紛争解決、国際的研究など世界平和に関する知識を学ぶプログラムです。

この奨学金をもらって学業を終えた人は約190人ののぼり、世界平和の促進に重要な役割を果たしている。

最近の日本では、浦和RCから推薦され、ブラッドフォード大学（イギリス）で学んだ岸谷美穂さんは日本のNGO組織Peace　Winds　Japanとともにイラクで活躍しており、第２回中曽根康弘賞優秀賞が授与された。

また、神戸RC推薦で、デューク大学･ノースカロライナ大学（アメリカ）で学んだ細川麻衣さんは現在国連難民高等弁務官事務所の要職に就いています。

ロータリアンの皆様にお願い

世界平和に貢献したいと考えているが、どうすればいいのかよく解らない優秀な人々を、是非推薦していただきたい。

財団委員会で十分なお手伝いをさせていただきます。

ガバナー公式訪問報告

名古屋空港ロータリークラブ

幹事　串　田　正　克

当クラブの９月の第１例会において、江崎柳節ガバナー、河村嘉男地区幹事のご両名によるガバナー公式訪問を受けました。例会に先立っての会長幹事懇談会では、終始和やかな雰囲気で、当クラブからは、一人百ドルの年次寄付やGSEに対する理解と積極的な取組をしたい旨を説明し、ガバナーからは、当クラブの会員数が58名という標準的な規模にあって、親睦等の事業費とクラブ運営費が明確に区分されている点や、姉妹クラブであるフィリピンのマカティウエストRCとの奨学金財団事業について評価され、今後もWCSの活動や国際的な交流等の活動を進めて頂きたいとのお話がありました。例会では、RIテーマである分かち合いの心について、分かち合うのは愛であり、その発露が親切心であると説かれ、地区運営方針である「違いをもたらそう」については、ロータリーは優良な実業人と専門職業人が集い奉仕の理想を誓い合った人々のコンペの場であるとのことで、ロータリーだからこそできるというロータリーマジックの話に繋げられ、大変示唆に富んだ有意義な卓話を頂きました。本当に有難うございました。



半田南ロータリークラブ

幹事　榊　原　邦　彦

東知多ロータリークラブ

会長　内　田　　薫

９月４日(火)江崎ガバナーと河村地区幹事をお迎えし、半田南ロータリークラブと東知多ロータリークラブの合同会長幹事懇談会、引き続き合同例会を開催しました。

懇談会では、CLPについてクラブの活性化・会員増強・退会防止の為、各クラブなりの見直し、魅力あるクラブ作りが大事などアドバイスを頂きました。

例会卓話では、江崎ガバナーよりRIテーマ「Rotary Shares」、地区方針「One Difference」の心と具体的な行動方針、またロータリーが目指す世界平和についてわかりやすく説明いただきました。

ロータリーの理念や奉仕活動について理解が一層深まり、当クラブのロータリー活動向上に大変有意義な例会となりました。





岡崎東ロータリークラブ

会長　神　谷　武　之

岡崎ロータリークラブ

会長　蜂須賀　利　雄

９月５日(水)、江崎ガバナー、河村地区幹事をお迎えして、岡崎ロータリークラブと合同で公式訪問が行われました。例会前に行われた「会長幹事懇談会」では、江崎ガバナーより会員増強、会員高齢化、ロータリーの友情、ロータリー財団、などにご指導をいただき、大変参考になりました。

合同例会の卓話では、ＲＩテーマ「ロータリーは分かち合いの心」、地区運営方針「違いをもたらそう」について、丁寧に説明していただきました。「ポリオプロジェクト」では10年間で20億人の子供にワクチンを投与して700万人の子供を歩けなくなる危険から救い、200万人の合併症による死亡から命を救ったお話。「米山奨学生」の活躍の話など、ロータリークラブのすばらしさが伝わるお話を戴きました。





名古屋大須ロータリークラブ

幹事　前　田　隆　久

９月６日（木)、残暑厳しい中、江崎ガバナー、河村地区幹事をお迎えして、会長幹事懇談会並びにガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

会長幹事懇談会では、当クラブの日頃の活動について、温かいお言葉と、的確なご示唆をいただき、今後のクラブ運営に関して大きな励みとさせていただくことができました。特に、今年度から当クラブで採用していますCLPにつきましては、CLPの本来の考え方、RI、地区等の現状、今後の動き等、手探りで始めた当クラブとしましても、非常に参考になるお話を聞かせていただきました。

ガバナー公式訪問例会は、単独でお受けするのは久し振りで、緊張もありましたが、江崎ガバナーのお人柄そのまま、非常に和やかな例会となり、30分の卓話では、RIテーマ、地区運営方針の解説の他に、ロータリーの理念、素晴らしさを、世界平和、人類文化という高い視点から具体的にお話いただき、メンバー全員、深い感銘を受けました。

懇談会、例会と２時間ばかりの公式訪問でしたが、充実した実り多き公式訪問であったことを、心から感謝いたします。ありがとうございました。



ガバナー公式訪問報告

名古屋清須ロータリークラブ

会長　辻　　勇　夫

稲沢ロータリークラブ

会長　山　名　敬　一

尾張中央ロータリークラブ

会長　石　川　雄　晤

去る９月11日江崎柳節ガバナー、河村嘉男地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問を開催致しました。

2760地区の運営方針は「違いをもたらそう」「100万＄の昼食会」でして当日の昼食を粗食として、その差額を寄付するという奉仕の理想に燃えておられるのだと理解しました。

９月号のガバナー月信で、ロータリーのinnovationについてメッセージをいただきました。スーパービジョンをいただいたことを2点挙げてみます。

１．奉仕の理想→奉仕の理念に変えていくべきだ
　理想の想は思うこと、理念の念は念じて思いつづけること、大変積極的なお考えであると考えます。

２．親睦活動は会員同士だけの仲良しを促進するだけではなくdevelopment of acquaintance、広く知人や、知り合いを開発することだとご教授いただきました。

今回はロータリアンとしてのモチベーションを高めていただけたまたとない良い機会でした、感謝申し上げます。

名古屋名北ロータリークラブ

幹事　山　本　　篤

名古屋北ロータリークラブ

会長　中　川　正　美

９月12日(水)名古屋東急ホテルにて、江崎柳節ガバナー、河村嘉男地区幹事をお迎えして、名古屋北ロータリークラブ・名古屋名北ロータリークラブの合同例会でガバナー公式訪問をお受けいたしました。

例会に先立ち会長・幹事懇談会にて、ＣＬＰ(クラブ・リーダーシップ・プラン)について色々教えを受け、又クラブ運営についてアドバイスをして頂き大変勉強になりました。

続く例会に於いて、江崎ガバナーより地区テーマ「違いをもたらそう」、RIテーマ「ロータリーは分かちあいの心」について具体的事例をあげられ大変分かりやすく解説して頂き　会員皆が、本年度テーマをよく理解できたことと思います。そして、ロータリーの心がよくわかる有意義な公式訪問例会となり、感謝しております。





豊橋ロータリークラブ

会長　石　川　百　代

9月13日（木）江崎柳節ガバナー・河村嘉男地区幹事をお迎えしての会長・幹事懇談会では豊橋ロータリークラブの事業計画等の現状の報告をさせて頂き、ガバナーから多くのご示唆を頂くことができました。

例会では、奉仕プロジェクトの大切さとクラブ運営・管理にしっかり目を向け、新世代に向けて全力投球すること、それによって、この地区から世界的なリーダーを生み出したいとも述べられました。ロータリー財団の持つ大きな魅力についても熱く語って頂きました。ＲＩテーマとガバナー目標への取組み方についても大変分かりやすくお話し下さいました。特に「違いをもたらそう」については、他の多くの奉仕団体に無い、素晴しいロータリーの奉仕活動、目に見えない活動をしっかり支えていってほしいとのお言葉もありました。私たちはガバナーの高い見識とリーダーシップに大変多くの感銘を受け、このお言葉を今後の活動に十分活かしていきたいと思っています。





安城ロータリークラブ

幹事　大　見　　宏

三河安城ロータリークラブ

会長　古　居　一　雄

去る９月14日、江崎柳節ガバナー、河村嘉男地区幹事をお迎えし、安城RC、三河安城RCの合同例会を開催しました。例会に先立って行われた会長、幹事懇談会では、各クラブからそれぞれの特徴と本年度の事業計画、活動状況を報告し、ガバナーより本年度50周年を迎える安城RCの伝統と来年度10周年を迎える三河安城RCの活力に称賛のお言葉をいただき、クラブ運営に当たっての適切な指導と助言をいただくことができました。合同例会では、本年度のRIテーマ「ロータリーは分かちあいの心」について、分かちあうのは愛であり、その発露が親切心であること、分かちあいとは不要になったものを施すことではなく、人のために我を忘れて自らを捧げることであると、分かりやすいご説明をいただきました。また、地区運営方針の「違いをもたらそう（One Difference）」についても、高い倫理性、専門性、職能制をもとにした奉仕によりロータリーの違いを明確にしよう、ポリオプラスでは700万人の子を救い、識字率向上にも貢献している、ロータリーは人類文化史上最大の奇跡であるという思いを述べられました。最後に江崎ガバナーは、ロータリーが世界平和フェローを通じて世界平和創造に向かって立ち上がったこと、イデオロギーのちがう国の若者に平和を考えさせ解決していこうとする努力が始まったこと、そして、「平和は可能である」と熱く語られ、会員一同深い感銘を覚えました。

ガバナー公式訪問報告

瀬戸北ロータリークラブ
幹事　加　藤　勝　之

愛知長久手ロータリークラブ
会長　白　石　政二郎

９月18日（火）江崎ガバナー、河村地区幹事をお迎えして、愛知長久手ロータリークラブと私共瀬戸北ロータリークラブで公式訪問、合同例会を行いました。

例会前の会長･幹事懇談会においては、江崎ガバナーより青少年交換学生の推奨、CLPのチェックポイント、また奉仕プロジェクトが手薄になっているのでは、とのご指摘を頂き、本当に有意義な会長･幹事懇談会をさせて頂きました。

例会におきましては、当クラブの入会式を執り行い、２名の新会員が入会。その後、新会員の推薦者に贈られるバッチ授与式を行いました。当クラブは、本年度に入り６名の新会員が入会しましたので、その６名の推薦者に江崎ガバナーより推薦者バッチを胸に付けて頂きました。

その後、江崎ガバナーから「ロータリーは分かちあいの心（平和に挑戦するロータリー）」という演題で卓話を頂きました。卓話の中で、RIテーマ「ロータリーは分かちあいの心」地区運営方針「違いをもたらそう」のご説明を頂き、ロータリー国際大会で史上初めて世界平和フェロー・シンポジウムが開かれたことと、ロータリーが平和問題に取り組まなければならない理由などのお話をして頂きました。

当クラブが、次年度30周年を迎えるに当り、今後のロータリー活動の一助となる例会になりました。江崎ガバナー、河村地区幹事本当にありがとうございました。

豊橋ゴールデンロータリークラブ
会長　外　山　和　夫

豊橋東ロータリークラブ
会長　柴　田　憲　一

９月21日（金）、江崎ガバナー・河村地区幹事をお迎えし、豊橋ゴールデンロータリークラブと豊橋東ロータリークラブのガバナー公式訪問合同例会が行われました。

例会前の会長幹事懇談会では、両クラブの現状に的確な御指導を賜わりました。合同例会におきましては、河村地区幹事より江崎ガバナーの御紹介を頂き、ガバナースピーチにて、「RIテーマ」「地区運営方針」を具体的に分かり易く解説して頂きました。

またCLP、クラブ奉仕、会員増強等、いわゆるロータリーの本質論を実践することの重要性を強調され、ロータリー、ロータリアンは如何にあるべきかを教えて頂きました。

そして、「普通の人間が気が付いてみると思ってもみない数々のことをやらせてしまう」という“ロータリーマジック”（人類文化史上最大の奇跡）につき、ポリオプラス、識字率向上、小口貸付資金、世界平和フェロー等、例を挙げて話され、ロータリーが向おうとしている世界平和への理念を拝聴し、短い時間ではありましたが、大変充実した例会となりました。



名古屋西ロータリークラブ
幹事　林　　芳　行

９月20日（土）、江崎ガバナー、河村地区幹事をお迎えし、会長・幹事懇談会ならびに公式訪問例会を開催しました。

懇談会では、当方から、クラブの現状や課題などを説明し、ガバナーからは適切なアドバイスと共に広い視点でのロータリー活動について御教示頂きました。

また、例会での卓話では、「Rotary Shares　分かちあいの心」、「One Difference　違いをもたらそう」、「ロータリー・マジック」等について、大変丁寧に分かりやすくお話し頂きました。特に「ロータリー・マジック」については具体的な活動を幾つか紹介して頂き、RIの活動をより理解することができました。30分という短い時間でしたが、大変多くのことをお話し頂き、充実した例会となりました。



岡崎城南ロータリークラブ
会長　加　藤　豊　生

岡崎南ロータリークラブ
会長　本　間　　毅

９月25日（火）岡崎城南ロータリークラブは岡崎南ロータリークラブと合同の例会で、江崎ガバナー・河村地区幹事の公式訪問をお受けいたしました。例会に先だち行なわれた会長・幹事との懇談会では、ガバナーの所属される小牧クラブの活動や地区のロータリー財団、米山奨学会、既存クラブの問題点など詳しくお話しを伺うことができ、大変勉強になりました。例会においてはRIテーマである「Rotary Shares」 地区テーマである「One Difference」を解りやすくお話され、またCLPについては、その考え方や各クラブがどのように効果的に採用するか等詳しく解説されました。

僅かに1時間の例会ではありますが、江崎ガバナーの誠実なお人柄とロータリーに対する高い御見識と熱意を感じ、会員にとりまして真に意義のあるガバナー訪問でありました。





2008～2009年度（片山年度）ガバナー補佐紹介

南尾張分区

村　上　茂　登

1949年（昭和24年）12月３日生
知多ＲＣ／歯科
村上歯科　院長

【ロータリー歴】
1987年12月　知多ロータリークラブ入会（チャーターメンバー）
1996年～97年　幹事
2000年～01年　会長
○ポール・ハリス・フェロー
○米山功労者



改めてロータリーを勉強し、自分自身を見つめ直してみたいと思います。分区内の聡明なる皆様方に支えていただきながら、一年間役目を果たしていきたいと考えております。

西尾張分区

安　藤　銑　悟

1937年（昭和12年）５月１日生
尾張中央ＲＣ／洋裁学院
安藤洋裁学院　理事長

【ロータリー歴】
1987年2月4日　尾張中央ロータリークラブ　入会
1990～1991　社会奉仕委員長
1995～1996　幹事
1997～1998　副会長
1999～2000　西尾張分区ガバナー補佐幹事
2000～2001　会長
○ポール・ハリス・フェロー　○ベネファクター
○米山功労者



この度、図らずも2008～2009年度国際ロータリー第2760地区西尾張分区ガバナー補佐の拝命を頂きました　安藤銑吾でございます。大変光栄であると同時に身の引き締まる思いでいっぱいであります。
元より浅学非才ありますので諸先輩方のご指導と会員各位のご協力を頂きながら頑張って努めさせて頂く所存ですので宜しくお願い申し上げます。

東尾張分区

安　藤　公　爾

1945年（昭和20年）２月７日生
尾張旭ＲＣ／一般弁護士
安藤公爾法律事務所　所長

【ロータリー歴】
1978年12月　尾張旭ロータリークラブ入会
1986年～87年　幹事
1994年～95年　会長
1998年～99年　地区会員増強委員
1998年～99年　IM実行委員長
1999年～01年　地区会員増強副委員長
2001年～02年　地区会員増強委員長
○ポール・ハリス・フェロー
○マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
○米山功労者



任重くして道遠し。ご協力を心よりお願いいたします。

西名古屋分区

近　藤　雄　亮

1947年（昭22年）９月20日生
名古屋瑞穂ＲＣ／電磁応用製品製造
三明電機株式会社　取締役社長

【ロータリー歴】
1983～1984　ニコボックス委員長
1985～1986　親睦活動委員長
1989～1990　S．A．A．
1990～1991　副幹事
1991～1992　幹事
1992～1993　会員選考委員長
1994～1995　ローターアクト委員長
1995～1996　会員増強委員長
1996～1999　地区RAC（小）委員
1999～2000　地区RAC委員
2000～2001　地区RAC副委員長
2001～2002　地区RAC委員長
2002～2003　会長
2003～2004　R情報委員長
2004～2005　S．A．A．
2007～2008　プログラム委員長
○ポール・ハリス・フェロー　○米山功労者
○ベネファクター　○マルティプル・フェロー



ガバナー方針をよく理解し、ロータリー発展の為努力したいと思います。

東名古屋分区

國　分　孝　雄

1939年（昭和14年）５月25日生
名古屋和合ＲＣ／建築設計
㈱国分設計　代表取締役社長

【ロータリー歴】
1979年　名古屋和合ロータリークラブ入会
1994～1995　幹事
1998～1999　社会奉仕委員
1999～2000　環境保全委員
2000～2005　環境保全委員長
2001～2006　2005国際博委員
2006～2007　会長
○ベネファクター
○ポール・ハリス・フェロー
○米山功労者（３回）



ロータリー不朽の理念を再学し、新しいロータリー像を探求したいと思います。

東三河分区

松　井　章　悟

1941年（昭和16年）９月１日生
豊橋ＲＣ／靴販売
松井商事株式会社　代表取締役会長

【ロータリー歴】
1979年６月14日　豊橋ＲＣ入会
1986～1987　社会奉仕委員長
1990～1991　S．A．A．
1993～1994　幹事
1995～1996　地区副幹事
1999～2000　会長
2000～2001　地区職業奉仕委員
2007～2008　S．A．A．
第18回ＩＡＣ協議会実行委員長
○マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
○米山功労者



ガバナー補佐の任務に微力を尽くします。宜しくお願い致します。

西三河中分区

福　岡　輝　夫

1938年（昭和13年）３月22日生
豊田中ＲＣ/合成樹脂加工
名豊化成㈱　代表取締役

【ロータリー歴】
2000年　豊田中ロータリークラブ入会
2000～2001　社会奉仕委員長
2001～2002　会場監督
2002～2003　会長エレクト
2003～2004　クラブ会長
2006～2007　地区財団学友委員会委員
2007～2008　地区財団学友委員会副委員長
○ポール・ハリス・フェロー
○ベネファクター
○米山功労者（３回）



皆様方と親しく交わり、奉仕活動の活性化に寄与したいです。

西三河分区

辻　村　和　美

1947年（昭和22年）11月29日生
西尾KIRARAＲＣ／上下水道工事
辻村工業㈱　代表取締役

【ロータリー歴】
1989年７月　西尾ロータリークラブ　入会
★西尾KIRARAロータリークラブ創立キーメン
1991年７月　西尾KIRARAロータリークラブ創立とともに入会
1991～1992　S.A.A
1992～1993　副幹事
1998～1999　副会長
1999～2000　会長エレクト
2000～2001　会長（創立10周年）
★第2760地区初めての他国との同額補助金事業をした
○ポール・ハリス・フェロー
○第３回米山功労者



戦後生まれ団塊の世代です。
順番とはいえ回ってきました責任をしっかり果たしていきたいと考えています。

2008－2009年度

地区幹事・会計長・会計監事・副幹事・スタッフ決定

ガバナーエレクト



片山　主水

片山主水法律事務所
所長

ベネファクター
ポールハリスフェロー
第３回米山功労者（マルチプル）

1972年３月　名古屋東南R.C入会
1989～90年度　幹事
　(地区)国際友好委員会 委員
1990～92年度　(地区)国際友好委員会 委員長
1992～94年度　(地区)世界社会奉仕委員会 委員長
1994～95年度　(地区)環境保全委員会 委員長
1995～96年度　会長
1997～98年度　(地区)幹事
2000～01年度　(地区)資金委員会 委員長
2002～04年度　(地区)クラブ奉仕委員会 委員長
2006～07年度　(地区)西名古屋分区ガバナー補佐
　(地区)地区研修委員会 副委員長
2007～08年度　(地区)ガバナーエレクト
　(地区)地区諮問委員会 委員
　(地区)米山記念奨学会評議委員会 委員

原点に立ち返り、他とは一味違う「持続可能な奉仕」とこれにふさわしい組織を念頭に、日夜充電中のエレクト事務所の面々です。よろしくお願いします。

次期地区幹事



宮崎　薫

宮崎精鋼㈱
代表取締役社長

ベネファクター
大口寄付者　(マルチプルポールハリスフェロー)
第５回米山功労者(マルチプル)

1982年７月　入会
1989～90年度　親睦活動委員長
1991～92年度　副幹事
1992～93年度　幹事
1997～98年度　(地区)副幹事 犬飼栄輝ガバナー年度
2000～01年度　会長エレクト
2001～02年度　会長
2004～05年度　ロータリー研修委員長
2005～06年度　クラブ奉仕委員長
　(地区)クラブ奉仕委員・家族委員
2006～07年度　クラブ奉仕委員長
　(地区)クラブ奉仕副委員長
2007～08年度　(地区)次期地区幹事
　(地区)ガバナー事務所分室
　　運営委員会副委員長
　(地区)地区大会企画委員

08～09年度の仕事がいよいよ始まりました。来年の地区協に向けて、まずは大きな山を乗り越えねばなりません。皆様ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

次期地区会計長



伴　禎夫

共和工業㈱
相談役

ポール・ハリス・フェロー

1985年７月　名古屋東南ロータリークラブ入会
1991～92年度　幹事
1997～98年度　第2760地区副幹事
1998～99年度　会長
1999～00年度　ロータリー情報委員長
2006～08年度　地区ロータリー情報委員長

お預かりした地区資金を正確かつ公正に運用管理いたします。

次期地区会計監事



鈴木　輝彦

株式会社テクノ鈴秀
　代表取締役会長

ベネファクター
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
第４回米山功労者(マルチプル)

1981年４月　入会
1984～85年度　S.A.A.
1985～86年度　出席委員会 委員長
1987～88年度　理事 社会奉仕委員会 委員長
1988～89年度　理事 職業奉仕委員会 委員長
1991～92年度　広報委員会 委員長
1992～93年度　副幹事 ロータリー財団委員会 委員長
1993～94年度　幹事
1994～95年度　理事 職業分類委員会 委員長
1999～00年度　副会長 クラブ奉仕委員会 委員長
2001～02年度　会長エレクト
2002～03年度　会長
2003～04年度　直前会長 ロータリー情報委員会 委員長

地区RC活動が、その目標達成のために、スムーズに、また、効果的に運営されるよう微力を尽くしたい。

次期地区筆頭副幹事



佐久間貞介

佐久間特殊鋼㈱
取締役社長

ベネファクター
ポールハリスフェロー
準米山功労法人

1986年９月　名古屋東南R.C入会
1992～93年度　ＳＡＡ
1993～94年度　会場運営委員長
1994～95年度　副幹事
1995～96年度　幹事
1998～99年度　青少年委員長
1999～00年度　米山記念奨学委員長
2000～01年度　会計
2001～02年度　広報委員長
2002～03年度　社会奉仕委員長
2003～04年度　会場運営委員長
2004～05年度　会長エレクト　(地区)クラブ奉仕委員会 委員
2005～06年度　会長
2006～07年度　(地区)西名古屋分区ガバナー補佐幹事
　(地区)会員増強委員会　委員
2007～08年度　ロータリー研修委員長

皆さんの記憶に残るような片山年度になるように…努力します

次期地区副幹事



近藤　信之

名古屋ボデー㈱
取締役社長

ベネファクター
ポールハリスフェロー

1991年2月　入会
1993～94年度　ニコボックス委員長
1995～96年度　青少年活動委員長
1996～97年度　社会奉仕委員長
1997～98年度　プログラム委員長
1998～99年度　職業奉仕委員長
1999～00年度　幹事
2001～02年度　会場運営委員長
2002～03年度　Ｓ，Ａ，Ａ
2003～04年度　環境保全委員長
2004～05年度　会員増強委員長
2005～06年度　親睦活動委員長
2006～07年度　副会長
2007～08年度　社会奉仕委員長

東三河分区担当で、地区協議会に関する渉外の窓口を担当します。

次期地区副幹事



山口　剛男

中日物産㈱
取締役社長

ポールハリスフェロー

1992年10月　入会
1997～98年度　RAC委員長
1998～99年度　ニコボックス委員長
1999～00年度　出席委員長
2000～01年度　副幹事
2001～02年度　幹事
2004～05年度　S.A.A.／会場運営委員長
2005～06年度　副会長
2006～07年度　S.A.A.

西尾張分区と地区便覧を担当します。よろしくお願いいたします。

次期地区副幹事



白木　良彦

㈱シロキ
常務取締役

ポールハリスフェロー
準米山功労法人

1997年2月　入会
1999～00年度　ＲＡＣ委員長
2002～03年度　プログラム委員長
2004～05年度　副幹事
2005～06年度　幹事

西三河分区担当になりました。目標達成に向けて全力で協力して参る所存です。

次期地区副幹事



成瀬　和男

㈲成瀬測量登記事務所
代表取締役

ベネファクター
第1回米山功労者

1997年8月　入会
1999～00年度　親睦活動委員長
2001～02年度　クラブ会報委員長
2002～03年度　会場運営・インターネット委員長
2003～04年度　新世代委員長
2005～06年度　副幹事
2006～07年度　幹事

南尾張分区担当で国際奉仕関係を担当します。宜しくお願い致します。

次期地区副幹事



水野　恒平

㈱水野工務店
代表取締役

1997年４月　入会
1999～00年度　ニコボックス委員長
2000～01年度　会場運営委員長
2001～02年度　親睦活動委員長
2003～04年度　インターネット委員長
2004～05年度　国際奉仕委員長
2005～06年度　会員増強委員長
2006～07年度　副幹事
2007～08年度　幹事

西三河中分区担当、地区指導者育成セミナー、エレクト・ガバナーの2年間の記録を担当します。地区副幹事として皆様のお役に立てますよう、粉骨砕身努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

次期地区副幹事



下郷　卓弥

しもざとクリニック
院長

ポールハリスフェロー
第3回米山功労者（マルチプル）

2002年1月　入会
2003～2004　クラブ情報委員長
2006～2007　職業奉仕委員長
2007～2008　S. A. A.／会場運営委員長

東名古屋分区地区副幹事を担当します。多くの人々に会えることを楽しみにしております。

次期地区副幹事



大島　浩嗣

㈱ヤマサンイトウ
代表取締役社長

米山功労者
ポール・ハリス・フェロー
マルティプル・フェロー

1982年2月18日　入会
1985～86年度　クラブ会報委員長
1988～89年度　ＳＡＡ（現　会場）委員長
1989～90年度　副幹事
1990～91年度　幹事
1991～92年度　会員選考委員長
1993～94年度　ローターアクト委員長
1995～96年度　副ＳＡＡ
1996～97年度　クラブ奉仕委員長
1999～00年度　創立20周年実行副委員長
2000～01年度　米山奨学委員長
2001～02年度　プログラム委員長
2002～03年度　社会奉仕委員長
2003～04年度　会長エレクト
2004～05年度　会長
2005～06年度　Ｒ情報委員長　長期ビジョン委員長
2006～07年度　ＳＡＡ・長期ビジョン委員長
2006～07年度　長期ビジョン委員長
2007～08年度　長期ビジョン委員長　地区職業奉仕委員

片山ガバナーエレクトの方針のもと、宮崎地区幹事が素晴らしい地区運営が出来る様、担当する西名古屋分区を始めとして、その職責が果せる様努めたいと思います。

次期地区副幹事



山本　誠一

㈱あかのれん
代表取締役会長

ベネファクター
マルチプルポールハリスフェロー
米山功労者

1991年２月　入会
1991～92年度　社会奉仕委員長
1993～94年度　幹事
1995～96年度　ロータリー財団委員長
1996～97年度　クラブ奉仕委員長
1999～00年度　副会長
2001～02年度　西名古屋分区　ガバナー補佐幹事
2004～05年度　会長エレクト
2005～06年度　会長
2006～07年度　直前会長
2007～08年度　ロータリー情報委員長

東尾張分区を担当します。分区の皆さま、宜しくお願い致します。

次期地区スタッフ



江口　博寿

東洋燃料株式会社
代表取締役

ポール・ハリス・フェロー
第３回米山功労者（マルチプル）

1994年　入会
1999～00年度　会場委員会　委員長
2002～03年度　理事　親睦活動委員会　委員長
2003～04年度　出席委員会　委員長
2004～05年度　プログラム委員会　委員長
2005～06年度　S. A. A.
2006～07年度　ニコボックス委員会　委員長
2007～08年度　米山記念奨学委員会　委員長

少しでもお役に立てるよう努めます。御指導よろしくお願いします

次期地区スタッフ



岡村　達人

㈱岡村製作所
代表取締役

ポール・ハリス・フェロー

1983年７月　入会
1986～87年度　クラブ会報委員長
1989～90年度　親睦活動委員長
1990～91年度　S. A. A.
1993～94年度　会場委員長
1994～95年度　副幹事
1995～96年度　幹事
1996～97年度　会員選考委員長
1997～98年度　国内友好委員長
1999～00年度　ローターアクト委員長
2000～01年度　クラブ奉仕委員長
2001～02年度　副S. A. A.
2002～03年度　職業分類委員長
2004～05年度　職業奉仕委員長
2007～08年度　会計

片山ガバナーの下、地区スタッフとして、色々学びながら、協力してまいります。

次期地区スタッフ



長瀬憲八郎

古川設備工事㈱
代表取締役

ポール・ハリス・フェロー
米山功労者
ベネファクター

1987年１月　入会
1993～94年度　親睦活動委員長
1999～00年度　会場委員長
2000～01年度　副幹事
2001～02年度　幹事
2002～03年度　会員選考委員長
2003～04年度　会員増強委員長
2004～05年度　創立25周年実行副委員長
2005～06年度　ローターアクト委員長
2006～07年度　クラブ奉仕委員長
2007～08年度　副S. A. A.

自分の役割を理解し、スタッフの一員として、活動したい。

次期地区スタッフ



山本　郁矢

㈱山本建材
代表取締役

マルチプルポールハリスフェロー
米山功労者

1991年２月19日　入会
1994～95年度　ニコボックス委員長
1995～96年度　会場運営委員長
1997～98年度　会報委員長
1998～99年度　親睦活動委員長
2001～02年度　ロータリー財団委員長
2003～04年度　新世代委員長
2005～06年度　幹事
2006～07年度　S.A.A
2007～08年度　環境保全・保健問題委員長

スタッフの一員として、微力ですが頑張っていきたいと思います。宜しくお願い致します。

次期地区スタッフ



児島　徳和

ソニー生命保険㈱第8支社
ファイナンシャルプランナー

ポールハリスフェロー
米山功労者

1999年12月７日　入会
2003～04年度　出席委員長
2005～06年度　親睦活動・家族委員長
2006～07年度　地区社会奉仕委員会　委員

若輩者でございますが、片山ＧＥのために微力ながら尽力させて頂きます。

次期地区スタッフ



伊東與有三

㈾丸新舎
代表社員社長

ポールハリスフェロー
第３回米山功労者（マルチプル）

2000年１月　入会
2004～05年度　環境保全委員長
2005～07年度　米山記念奨学委員長

今回スタッフに推選頂き、微力な私ですが、頑張ってまいります。宜しくお願い致します。

次期地区スタッフ



神保　成章

㈱オーヴァルジュニア
代表取締役専務

ポールハリスフェロー

2000年１月　入会
2004～05年度　新世代委員長
2005～06年度　クラブ情報委員長
2006～07年度　環境保全委員長

クラブ発足来二度目のガバナー輩出との事、堅実な改革に向け精進致します。

次期地区スタッフ



尾本　和弘

㈱伸栄商会
代表取締役社長

マルチプルポールハリスフェロー
第３回米山功労者（マルチプル）

2001年７月　入会
2005～06年度　新世代委員長
2006～07年度　インターネット委員長
2007～08年度　環境保全委員長

スタッフの一員として、ガバナー・幹事・事務局を補助します。

2007～2008年度 国際ロータリー第2760地区委員長会議

国際ロータリー第2760地区新世代委員会

委員長　加　藤　康　治



午後３時30分よりキャッスルプラザ４Ｆ（鳳凰の間）にて江崎柳節ガバナーの点鐘にて開催され81クラブより131名のロータリアンの出席。

当日は新世代・インターアクト・ローターアクト・ライラの各委員長をできる限り関連あるテーブル席について頂き、それぞれテーブル・ディスカッション形式で開催する。従来型の会議と異なり、参加したロータリアンから幅広く意見を出し、皆様からの発言を集約し、全員参加型の会議といたしました。今後の新世代の育成に携わる資料と致すことが必要と考えます。

新世代にはインターアクト・ローターアクト・ライラがありますが時と共に形骸化し、ロータリーの「奉仕の心」を持った青少年の存在が難しくなってまいりました。昨今の科学技術の発展、産業構造の変革、戸惑うばかりのスピードに今一度、真の新世代へのロータリーが携わる基本をしっかりと把握し、この会議で今後の新世代の育成に携る資料として貴重な会議となりました。

江崎ガバナー挨拶

新世代への育成はロータリーにかかわらず、人類の中で最も重要な課題の一つであります。人々の未来そのものであります。私達はこれらの若い人に委ねる時がまいります。時代を担う若者達への思いは大です。新世代に伴うプログラムがあります。それがインターアクト・ローターアクトであります。今日、ここで討議されますことは是非、クラブに持ち帰ってしっかり伝えて頂きたい。

加藤康治　新世代委員長報告

ロータリーは奉仕を誓い合った人々のコンペの場である。

ロータリーは何故、インターアクト・ローターアクトを提唱するのか？

インターアクト・ローターアクトはそれぞれしっかりとしたプログラムがあります。それらのプログラムの力を借りて、これからを担う若者に指導と助言を与え、将来へのしっかりとした準備を整えさせることが課せられております。本年度はご参加いただきました皆様方にテーブルディスカッションをお願いし、皆様方全員参加型の会議を開催いたします。「違いをもたらそう」の地区テーマに沿ってまずは一歩前への思い起こし、新世代への私達の責務をしっかりと確認してまいりましょう。

加藤明宏　インターアクト委員長報告

インターアクトは７月16日の海の日に協議会を豊橋の愛知大学で開催され、ロータリアン・インターアクト・関係方々500名のご登録を頂き、無事成功裏に終えました。

７月20日からは36名のインターアクト生と共にオーストラリアのメルボルン郊外ジーロングにまいりました。10日間にわたる海外研修、オベロン校への体験授業、それぞれの家庭へのホームステイ、参加した生徒は思い出に残る研修と同時に、この研修を通じて友情と一層の体験を得て貴重な日々を会得したものと思います。

インターアクトはこの研修を最大の行事と致しておりますが、本来の趣旨目的をしっかりと伝えることを指導し、奉仕心を持った人が若者への育成に努力いたしてまいりましょう。

坪井和義　ローターアクト委員長報告

６月24日には豊田地区５クラブがスポンサークラブになって、豊田広域ローターアクトクラブが誕生いたしました。名古屋名城ローターアクトクラブが誕生して以来12年ぶりの新クラブ誕生であります。

当地区では９クラブ150名のアクターが、奉仕に、友情に、専門知識開発へと日々努力いたしております。ローターアクトクラブは９月22･23日に国内研修を皮切りに、年度後期に多くの行事が控えております。

2009～2010年には全国ローターアクト研修会が当地区（名古屋）にくる予定です。全国から800名ほどの多くのアクター・ロータリアンがこの地で研修いたします。

本年度より各ローターアクトクラブに会計報告はしっかりとした会計報告のマニュアルが出来ております。提唱クラブの委員長様はそのマニュアルに従ってご指導いただくよう併せてお願いいたします。

坂田憲治　ライラ委員長報告

昨年度ライラセミナーに出席したライラ受講生から２名を選別し、国際大会の会場であるアメリカ・ソルトレ

2007～2008年度 国際ロータリー第2760地区委員長会議

イク市の派遣し国際ライラセミナーに臨みました。６月13日～20日までの期間２名のロータリアン随行員と共に出席し、多くの成果をあげてまいりました。ライラセミナーは昨年度と会場を同じくして、名古屋東山ロータリークラブがホストクラブとして開催されます。是非各クラブ２名ずつ派遣いただきますようお願いいたします。

講師　倉知三雄　小牧南高校校長

三兄弟が揃って校長先生、厳しい母の躾が私達３人の今の姿です。教育者として真の教育とは本音で生徒に話し、身をもって立ち向かう勇気が生徒達を育てる。94歳の母は今も健在、６時に目を覚まし、まず新聞に目を通す。株式欄・スポーツ欄・政治欄へと今も一日たりとも欠かすことはありません。豊かでなく、生活が厳しいけれども旧家として、母として決して子供には妥協を赦さず、そんな母が私達三兄弟の宝です。今の親子には創造が付かないと思います。淡々と教育に生涯を捧げた人生をお話いただきました。

テーブルディスカッション

新世代・インターアクト・ローターアクト・ライラの地区委員をそれぞれ各テーブルにテーブルリーダーと記録係に配置し、それぞれ各クラブ委員長が45分間討議願う。まずは名刺交換、自己紹介から各テーブル毎に委員長より議題を提示願い真剣にディスカッション願う。後半45分は各テーブルより発表者が責任を持って討議結果発表する。それぞれのテーブル発表者はすばらしい討議内容を出して頂きました。これらの発表は第２回クラブ新世代委員長会議の貴重な資料となると思います。

懇親会

６時30分より地区幹事の河村嘉男様の音頭にて乾杯、８時には終了す。

国際ロータリー第2760地区クラブ奉仕委員会

委員長　岡　本　伊三雄



９月７日、昨年までと会場を変えて、ホテル日航豊橋でクラブ奉仕委員長会議が開催されました。岡本伊三雄委員長の点鐘、江崎ガバナーの「クラブ奉仕は、ロータリーの４大奉仕の中でも、ロータリー、ロータリアンそのものの資質を高め、自己を研鑽する“奉仕”という特徴を持っており、この会議が実りあるものとなることを期待します。」という挨拶でスタートしました。内容は以下の通りです。

Ⅰ．岡本　伊三雄　クラブ奉仕委員長

江崎ガバナーの趣旨に沿って、CLP（クラブ・リーダーシップ・プラン）を中心にクラブ運営についてディスカッションして頂きたいということと、今年のお願いをされました。昨年は「物の言えるクラブ奉仕委員長」と「ロータリーの理念を声を大にして言って下さい」という２つのお願いをされましたが、徳川家康の三河武士の気風、「いかに倹約して、いかに生かすか」に例えられ、ケチに徹してクラブ運営をして欲しい、“ケチ”とはみみっちいということではなく、“倹知”ですと今年のお願いをされました。

Ⅱ．高井　克憙　ロータリー家族委員長

ロータリアンがロータリー活動をできるのは、家族が根底にあるということを忘れてはいけません。ロータリー家族委員会は、2003～2004年度のRI会長の提唱によりできました。ロータリー家族というのは、ロータリアンの家族をはじめ、インターアクト、ローターアクト、そして奉仕活動に協力して頂ける人達も含めたものであり、ロータリー家族に対するプログラムについても討議して下さいとお願いされました。

Ⅲ．江崎　柳節　ガバナー

2004年10月にRIから出されたCLPは、世界中のクラブに対して一度は検討して欲しいと言われてきたものであり、採用は各クラブの裁量権であるが、各クラブにおいて今年度中に検討をして頂きたいということと、クラブ奉仕のあり方についてCLPを中心に話されました。

CLPの地区見解について、①クラブ運営管理、②増強、③奉仕プロジェクト、④ロータリー財団、⑤広報の５つのチェックポイントからマンネリ化したクラブを見直す“棚卸し”に役立つ指標であると詳細な説明をされ、地域がほんとうに欲しいニーズを見極めて、自治体の事業の協賛で終わらず、たった１つで良いから、ロータ

リーらしい社会奉仕をして欲しいと話されました。

Ⅳ．井上　穂　クラブ奉仕副委員長

各クラブのクラブ奉仕委員長に事前に行ったアンケートを冊子にまとめられ、それをさらに集計し、「アンケートから見るクラブの現況」として、プロジェクターを使って説明されました。クラブ運営の効率化の実施が31％、CLPによって委員会の見直しが20％、クラブ会報のパソコン化などのIT化の実施が11％。その他、魅力ある例会の演出、魅力あふれる会員育成プログラム、ロータリー家族についてでありました。詳しくは、各クラブ奉仕委員長に配布されていますので、お目通し下さい。

Ⅴ．ワークショップ

10テーブルに分かれて、①クラブ奉仕委員長の果たすべき役割を考える－クラブ奉仕がクラブを変える－、②クラブ活性化とCLPを考えるをテーマに意見交換を行いました。主な意見として、「クラブ奉仕委員長として、魅力あるクラブになるよう頑張っている」、「会員増強は簡単なものではないが、支援するのはクラブ奉仕委員長の仕事」、「会員の質を高めるのに、クラブ奉仕委員長は重要な立場」という一方、「クラブの規模が大きく、小委員会の活動でうまく運営されている」、「クラブ奉仕委員長は、次の幹事・会長エレクトのための勉強期間」という意見もありました。またCLPについても、「すでに実行して効果をあげている」、「積極的に取り組んでいくべきだ」、「検討することを考えている」という一方、「現在うまくまわっており、検討する必要がない」、「あまり気がすすまない」、「現状では良くわからない」という意見もありましたが、CLPの必要性について、クラブに合ったCLPを導入すれば良い、クラブの特性によって対応・採用すべきという意見が多くでました。



Ⅵ．杉本　仁至　ガバナー補佐

江崎ガバナーは、クラブ奉仕にたいへん力を入れられ、CLPも積極的に推進されています。ロータリーも誕生して、100年余が経過し、初期の理念が失われがちとなりマンネリ化し、日本のロータリアンも14万人から10万人となってきました。ロータリーには４つの目的（綱領）があります。CLPはそれを達成するための手段・方策です。これが役に立つかどうか各クラブで検討して、役に立つものは採用することをお願いしたい。この会議がクラブの充実・発展に役立つことを願っていますと締められました。

国際ロータリー第2760地区広報委員会

委員長　青　木　勇　作

いささか時間が経過してしまいましたが、去る９月11日（火）16時から19時過ぎまでの３時間余、名鉄グランドホテルにおいて当年度「第１回広報・雑誌委員長会議」を開催させていただきました。

当日は、地区内81のクラブから約百人の方々にご出席いただき、まずは賑やかな会議となりました。

会議には、江崎柳節ガバナー、河村嘉男地区幹事、藤井伸三ロータリーの友地区委員そして落合鑅一地区副幹事にもご出席いただき、それぞれに「ロータリーの広報と雑誌」について熱い心を篭めてお話くださるとともに、私ども広報委員と一体となって会議の運営と進行にご尽力賜りました。お蔭様で各クラブの委員長の皆様にも何がしか今後の活動にお役に立てていただける内容となったのではないかと手前勝手に存じております。



最初に江崎ガバナーから「これまでのロータリーの広報活動はけっして活発ではなかったが、この時代になるとロータリーの理念がもっともっと世の中に理解され、一緒になって手伝いたいという人を巻き込んで行くことが大切である。そのためには｛広報こそロータリーが立ち上がっていく力である｝ことを認識して各委員長さんが広報活動に率先して取り組んで頂くとともに、クラブを挙げて推進して頂きたい」とのお話がありました。

次に当委員会から私青木が時間をいただき、「当地区でも広報への関心が特に強くなったのは、斎藤ガバナーの前年からであるが、江崎ガバナーのお考えは、お聞きいただいた通

2007～2008年度 国際ロータリー第2760地区委員長会議

りさらに前向きにお考えです。広報は世の中を相手にするものですから、{これだ} と決めつけるようなものでもありません。また、81のクラブがそれぞれに特徴をお持ちですし、その歴史や環境や習慣も異なります。したがって、それぞれにご自分たちが何をやれるのかお考えいただくしか無いと思います。ただ、私個人のささやかな社会人としての体験から見ますと {広報は、クラブの会長さんはじめトップと密接に繋がっていなければ進みません。クラブ内の緊密な関係作りが決め手だ！} と思っております。私ども委員も素人ですが、何でもお手伝いします。ぜひお使いください。」と申し上げました。

さらに、藤井ロータリーの友地区委員から「ロータリーの友」の素晴らしさと有用性についてお話があり「ロータリーの友にほれ込むように活動して、地区のために尽くしたい」とのお話をお聞かせいただきました。

最後に、野々垣敬地区広報委員から、日々ご自身が実業界に身を置かれてご苦心なさっておられる「広報と宣伝」について豊富な実例にユーモアを交えてお話いただきました。ご出席の皆様に「生のマスコミそして広報の現実」なるものをご理解いただく一助になったかと思っております。

引き続いて、午後６時前からの懇親会では、最初に河村地区幹事からお話いただき、乾杯のご発声をお願いしましたが、これまたご出席いただいた皆様がくつろいで広報同士の隣組として親しくご懇談いただけ、今後のクラブと地区内の広報活動の推進に少しはお役に立てていただけるかなと、厚かましくも考えたことでございました。

ご出席いただきました皆様、運営にお力添えいただきました皆様に、心からお礼申し上げます。

国際ロータリー第2760地区環境保全委員会

委員長　長　瀬　　諭



今年度、当委員会は、地区から各クラブへの「情報提供」を最大重点目標とし、形にとらわれず、いろんな形で情報提供できるよう、講演会（知識として、また世界規模の情報提供の場として）と見学会（生の情報・身近な視点からの情報提供の場として）の年２回の委員長会議を計画。

第１回目は、９月19日に環境問題に精通されているお二方を講師に迎え、２部に渡っての講演会を開催。当日は、ガバナーご臨席の下、80名弱のロータリーアンが参加し、ガバナーや委員長の挨拶後、講師の話に耳を傾けた。

第１部は、環境問題の権威で、現名古屋産業大学学長、また中部エネルギー・温暖化対策推進会議座長も務められている伊藤達雄氏。「都市の環境を考える」というテーマの下、発展途上国における人口１千万人以上のメガシティをいかにコントロールするかが今後の重要な問題であり、より自然の力を生かした環境作りが大切であると話された。



第２部は、皆様もご存知の現衆議院で、前環境大臣の小池百合子氏。「環境の世紀、日本の世紀」というテーマの下、彼女の広められたクールビズ運動の経緯など話され、温暖化防止や循環型社会の構築などの大義におけるファッション性などの共感性の必要性を訴えた。また、「日本は資源が無いからこそ効率化の発想が生まれた。危機感はチャンスの到来でのある」と話され、日本が米英に比べ遅れている環境へ金融投資の可能性なども話された。

以上の講演終了後、身近な情報として、テリトリーである愛知県内で環境保全推進活動を行っている外部団体の紹介を行い、ガバナーからご講評いただいた後、無事閉会いたしました。

ひとえに、ガバナーはじめ、来賓の方々、各ＲＣ委員長のご協力の賜物と地区環境保全委員会委員一同感謝しております。微力ではありますが、今後ともクラブの後方支援をモットーに情報提供を行ってまいりますので、ご協力よろしく御願いします。

次回第２回は、2008年５月22日（木）に開催予定で、次回は環境問題を実際に体感していただけるよう見学会を開催予定です。

米山学友会（愛知）総会及びトヨタ自動車工場見学会

米山奨学委員会委員長　大西　弘高

日　　時：平成19年９月24日(月･祝)
午前11時より
総会場所：名鉄トヨタホテル
見 学 会：トヨタ堤工場

地区米山奨学委員会は、米山奨学生と卒業された学友会の人達との交流と親睦を兼ねて年に２回日本の文化研修又は、企業の見学会を行っております。

今回は世界一のトヨタ自動車の工場（堤工場）の見学会を企画したところ、奨学生26名・学友会20名・ロータリアン40名・合計86名の参加をいただき、大変意義のある勉強と交流を計る事が出来ました。特に今回はクラブ米山奨学委員長の参加が多く大変うれしく思いました。ロータリアン・奨学生・学友の親睦が今まで以上に計れたのではないかと思います。

奨学生・学友はトヨタ自動車の生産ラインを見て、その素晴らしさに感動した事と思います。私も“さすがトヨタ”と感じながら見学させていただきました。

奨学生･学友は、多くのロータリアンとの“出会い”“会話”を望んでおります。これからもいろいろな企画の中で多くのロータリアンの参加をお願いしていきたいと思っております。又当日、名鉄トヨタホテルにて昼食の前に学友会の総会を行いました。

◆ 議題 ◆

① 学友会会長の交代の件
10 年間学友会会長をされてきた、クネヒト・ペトロ氏から劉正氏に交代

② 学友会新役員選任の件
副会長以下９名の新役員の決定
クネヒトペトロ氏は名誉会長に

③ 学友会会費の件
年間 2,000 円

④ 学友会の行事報告
等々議事はすべて承認され、新会長の劉正氏より新しい学友会（愛知）の発展をねがう決意表明があり、今後の学友会のさらなる発展が楽しみであります。

（財）ロータリー米山記念奨学会ニュース

★ ハイライトよねやま92号 ★　　**2007年10月12日発行**

● 今月のトピックス

1．寄付金速報　― 10月は米山月間です ―
2．日韓親善会議で米山奨学生がスピーチ
【第2750地区　金静希さん】
3．ＧＥＴＳで米山奨学生・学友が母国への思いあふれるスピーチ
4．米山奨学生が「二科賞」を受賞！
【第2750地区　キムキョンミンさん】

詳細は、米山記念奨学会ホームページ【http：// www. rotary- yoneyama. or. jp /】をご覧ください。

2007～2008年度　国際ロータリー第2760地区

地区大会のご案内

第１日目	2007年11月17日（土）	名鉄犬山ホテル
第２日目	2007年11月18日（日）	パークアリーナ小牧

違いをもたらそう　－ONE DIFFERENCE－

（ホストクラブ／江南ロータリークラブ　大会実行委員長　伊　藤　鶴　吉）

第一日目は、錦秋の国宝犬山城の下、名鉄犬山ホテルにおいて、地区指導者育成セミナー（９時30分～11時30分）でスタートします。午後は、13時30分より可愛い幼稚園児のハンドベル演奏をお聞きいただきます。その後、14時より、R.I.会長代理に小沢一彦R.I.理事をお迎えし、点鐘のもと本会議が始まります。「ロータリーミーティング」は、「期待される奉仕プロジェクトの新傾向」をテーマに、江崎ガバナーと深谷ロータリー財団委員長をコーディネーターとし、パネリストにパストガバナー、財団奨学生、WCS、ロータリー財団委員の方々にご参加いただき、ディスカッションを行い、皆様にきっと深い感銘と共感のシンポジウムになるものと思います。



R.I.会長代理
小沢一彦氏

R.I.会長代理歓迎晩餐会は、すばらしいエレクトーン演奏の演出で楽しく、美味しいご馳走で晩餐会は盛り上がることでしょう。

大会第二日目は、会場を小牧、長久手の合戦で歴史と文化の香り高い小牧城山麓隣り、パークアリーナ小牧（尾張地区最高のスポーツ施設）に移し、９時30分より、若さと伝統校の滝学園マーチングバンド演奏により賑やかに幕開けします。



手島龍一氏

本会議は午前10時に点鐘、江崎ガバナーの挨拶、小沢R.I.会長代理のメッセージ並びに近況報告等により、国際ロータリーとロータリアンとの理解が一層深まり、ロータリー103年の尊い歴史が、各クラブでの奉仕活動への大きな指針となり、クラブがさらに発展する立派なメッセージになることを祈ります。

午後の本会議の前に開催する、コールロータリー名古屋と中部フィルハーモニー交響楽団とのジョイントコンサートは、ロータリアンの心を癒してくれる内容豊かなイベントです。



デューク更家氏

記念講演は、講師に手嶋龍一氏（元NHKワシントン支局長、外交ジャーナリスト）をお招きし、「世界のリーダー達の武器なき戦い」の演題のもと、ご講演をいただきます。

手嶋氏の世界のトップリーダーの方々との交流と経験をもとに、興味深い逸話が聴講できるものと思います。どうぞご期待下さい。

ファミリープログラムは時の人、デューク更家氏によるトークショーとウォーキング教室はきっとご同伴のご夫人に喜んでいただけることと思います。

地区大会事務局

〒483-8205　江南市古知野町小金112　江南商工会館１F
Tel. 0587-53-2485　Fax. 0587-53-2486
E- mail　rc- chikutaikai07@kounan- rc. com

2007年11月地区主要行事

<諸会議>

◆11月17日(土)　9:30〜11:30
地区指導者育成セミナー　名鉄犬山ホテル

◆11月17日(土)　11:00〜12:00
第３回諮問委員会　名鉄犬山ホテル

<地区委員会>

◆11月２日(金)　16:00〜18:00
第12回ＧＳＥ委員会　ガバナー事務所分室

◆11月３日(土)　14:00〜16:00
第３回青少年交換委員会　ウィル愛知

◆11月３日(土)　18:00〜
第３回年次寄付委員会　名鉄犬山ホテル

◆11月７日(水)　17:30〜19:30
第３回ＲＣＣ委員会　徳川園・蘇山荘

◆11月７日(水)　15:00〜17:00
第３回ＩＴ委員会　ガバナー事務所分室

◆11月８日(木)　14:00〜16:00
第３回ライラ委員会　ルブラ王山

◆11月８日(木)　15:00〜16:30
第４回地区米山奨学委員会　ガバナー事務所分室

◆11月16日(金)　16:00〜17:30
第３回地区補助金委員会

<委員会主要行事>

◆11月10日(土)　14:00〜17:00
IAC次期役員・委員長研修会　名古屋YMCA

◆11月12日(月)　12:00〜14:00
RI第1780地区GSE来日歓迎晩餐会　名古屋東急ホテル

◆11月15日(木)　15:00〜17:30
米山奨学カウンセラー研修会　キャッスルプラザ

<式典及び記念行事>

◆11月17日(土)〜11月18日(日)
2007〜2008年度地区大会　名鉄犬山ホテル・パークアリーナ小牧

◆11月12日(月)
知多ＲＣ創立20周年記念式典　ホテルグランコート名古屋

✢ ✲ ✣ GSEメンバー表 ✣ ✲ ✢

RI第1780地区（フランス、ローヌ・アルプ、モンブラン地方）研究グループ交換受入れメンバーの皆さんです。
2007年11月11日〜12月10日（１ヶ月間）まで、当地区で研修致します。
大変お世話になりますが、宜しくお願いいたします。（GSE委員会）

	チームリーダー（75）	チームメンバー（36）	チームメンバー（28）
			
氏名	Jacque DUDOUX ジャック デュドゥー	Sophie BOUVERAT ソフィ ブーヴハ	Frédérique BRENIER フヘデヒック ブフニエ
スポンサークラブ	Chambery- Challes les Eaux RC シャンベヒー シャル・レ・ゾ RC 1991年創立　48名（今年度副会長）	Chamonix Mont Blanc Megève RC シャモニー モン ブラン ムジェーヴRC 1946年創立　41名	Bourgoin Isle dAbeau RC ブフゴワン イル ダボ RC 2001年創立　23名
職業	退職者（機械工学）	会計監査　ソムフィ社	海外営業(輸出責任者) アストン・メディカル社
勤務先業種	シンガポールで工業製品販売・設計に関する技術商業機構設立、30年間勤務。	住宅設備オートメーション：オートシャッター、車庫扉、ブラインド等を扱う	人工股関節等製造販売
言語	英語	英語、スペイン語	英語、日本語、スペイン語
趣味	ゴルフ、絵画、芸術一般	自然、山、ロッククライミング、マラソン、水彩画、木に絵を描く、フルート	東洋文化。日本文化。柔道。
目的	１．建設　２．建築 ３．機械製造会社 ４．プラスチック成型加工技術 ５．トヨタ（本社、工場）	１．機械製造会社 ２．伝統工芸職人 ３．トヨタ（本社）	１．整形外科医 ２．リハビリセンター ３．人工股関節等製造会社

	チームメンバー（32）	チームメンバー（34）	チームメンバー（26）
			
氏名	Benoit DESREUMAUX ブノワ デフモ	Karine FRANZ カヒンヌ フハンツ	Nicolas POT ニコラ ポ
スポンサークラブ	Evian Thonon RC エヴィアン トノン RC 1935 年創立　41 名	Bonneville / La Roche sur Foron RC ボンヌヴィル ラ ホッシュ シュー フォホン RC 1979 年創立　26 名	Grenoble Sud RC グルノーブル南RC 1976 年創立　35 名
職業	機械技師　ヴェカ・サス社	秘書（法務事務）　オディット会計監査事務所	水力技師　アルストム社
勤務先業種	塩化ビニール樹脂製ドア・窓製造	会計士・会計監査事務所	水車、水（力）タービン製造
言語	英語、ドイツ語	英語	英語
趣味	山、アルペンスキー（スキー協会所属）	自然、動物、乗馬（馬２頭所有、乗馬協会会員）、歴史、民俗学	登山、スポーツ、自転車競技、スキー、水泳
目的	１．鋳造・押出成型による塩化ビニール部品製造会社 ２．トヨタ（工場）	１．法律事務所（企業法務専門）	１．水力発電所 ２．水力発電用ダム ３．水力タービン製造会社　（例：東芝）

『友』 インターネット速報

2007年10月９日　No. 306

❖ RIの新ウェブサイトがスタート

国際ロータリー（RI）は10月８日（※アメリカ中西部サマータイム時と日本の時差は－14時間）から、新しいウェブサイトをスタートさせました。

今後の拡大に備え、データセンターの性能を著しく高めることを目的とした今回の改善では、「より合理的に使いやすくなったナビゲーション」、「ロータリー関連の画像ライブラリ」、「読みやすい『クラブの例会場』検索」、「改善された検索機能」などを中心に、さらに見やすく内容豊かに変更されました。

RIのウェブサイトは http:// www. rotary. org / en / Pages / ridefault. aspx です。

❖「ロータリージャパン」ホームページ情報

「ロータリージャパン」では、国際ロータリー（RI）理事会によって承認され、2007年７月１日～2013年６月30日で実施される「例会頻度試験的プロジェクト」の紹介ほか、このプロジェクトに参加している国内のクラブを掲載しています。

このプロジェクトは、2001年７月１日～2007年６月30日に実施されたロータリー・クラブ新モデル試験的プロジェクトの結果に基づき、クラブの例会頻度を変更することを認め、クラブの例会頻度がクラブの全般的効果や成果、会員増強に及ぼす影響を調べるために実施されるものです。

「ロータリージャパン」の日本語ホームページ http:// www. rotary. or. jp / contents. html から入り、「ロータリー情報」にある「『例会頻度試験的プロジェクト』 に日本からも参加クラブ」の文字をクリックしてご覧ください。

発行：ロータリーの友事務所
ホームページ……http:// www. rotary. or. jp
編集については……hensyu@rotary- no- tomo. jp

文庫通信（241号）

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、２万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

✣ 米山月間にあたって ✣

◎「ロータリー・クラブ」　米山梅吉　1929　20p
◎「國際ロータリーの組織に就て」　米山梅吉　1931　8p
◎「八十五年前の日本・明治初期の海外留學生と男爵團琢磨」
　米山梅吉　1938　10･10p　（「看雲録」より）
◎「人と偽り」　米山梅吉　1923　5p　（「提督ペルリ」より）
◎「ポールハリスと父米山梅吉」　米山桂三　東京世田谷RC　1977　6p
◎「ロータリーと父米山梅吉」　米山桂三　東京南RC　1972　8p
◎「米山梅吉伝」　長井盛至　米山記念館　1975　6p
◎「米山梅吉と雑誌『頴才新誌』『太陽』」　井口賢明　2007　2p
　（米山梅吉記念館館報 Vol. 9）
◎「米山梅吉と『新隠居論』搭載誌『実業之日本』」　井口賢明　2007　5p
　（米山梅吉記念館館報 Vol.10）

【上記申込先：ロータリー文庫（コピー／PDF）】

ロータリー文庫
〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15　黒龍芝公園ビル３F
TEL（03）3433-6456　http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後５時　休館＝土・日・祝祭日

会員数及び出席報告（平成19年９月）

	クラブ名	会員数 2007年7月1日	会員数 7月1日女性	会員数 2007年9月末日	当月女性	入会 9月	入会 累計	退会 9月	退会 累計	例会数	9月出席率
南尾張分区	半田	59	3	60	3	0	1	0	0	4	92.65%
	常滑	51	0	52	0	0	1	0	0	4	97.09%
	東海	60	2	61	2	0	1	0	0	4	95.54%
	東知多	22	1	24	1	2	2	0	0	4	86.15%
	半田南	46	1	47	1	0	1	0	0	4	100.00%
	知多	23	0	23	0	0	0	0	0	2	97.83%
	大府	22	1	22	1	0	0	0	0	4	90.00%
	7RC	283	8	289	8	2	6	0	0		94.18%
西尾張分区	一宮	80	0	82	0	1	3	1	1	4	98.61%
	津島	76	3	76	3	0	0	0	0	4	91.25%
	尾西	28	1	29	1	0	1	0	0	2	94.82%
	一宮北	51	0	51	0	0	0	0	0	4	90.11%
	稲沢	56	0	56	0	0	0	0	0	4	84.66%
	あま	89	0	90	0	0	2	0	1	2	95.31%
	名古屋清須	39	1	39	1	0	0	0	0	4	86.96%
	尾張中央	46	0	43	0	0	0	2	3	4	88.25%
	一宮中央	52	5	54	5	1	2	0	0	4	93.72%
	9RC	517	10	520	10	2	8	3	5		91.52%
東尾張分区	瀬戸	80	3	79	3	0	0	0	1	4	100.00%
	犬山	79	0	82	0	0	3	0	0	4	100.00%
	江南	55	1	55	1	0	0	0	0	4	91.30%
	小牧	38	3	38	3	0	0	0	0	4	95.00%
	春日井	62	2	63	3	0	1	0	0	4	96.95%
	尾張旭	30	0	31	0	0	2	0	1	4	100.00%
	名古屋空港	57	3	58	3	0	1	0	0	2	100.00%
	瀬戸北	72	5	75	6	2	6	0	3	4	100.00%
	岩倉	19	1	19	1	0	0	0	0	4	98.68%
	名古屋城北	21	2	21	2	0	0	0	0	4	98.44%
	愛知長久手	26	3	25	3	0	0	1	1	4	84.61%
	11RC	539	23	546	25	2	13	1	6		96.74%
西名古屋分区	名古屋	182	0	193	0	6	11	0	0	4	92.66%
	名古屋西	96	0	98	0	1	4	2	2	4	89.07%
	名古屋南	118	0	120	0	1	2	0	0	4	93.47%
	名古屋みなと	76	0	78	3	3	3	1	1	4	93.64%
	名古屋東南	67	5	82	6	3	15	0	0	4	91.02%
	名古屋中	138	0	139	0	0	2	0	1	2	99.52%
	名古屋瑞穂	72	0	72	0	0	0	0	0	4	98.50%
	名古屋大須	68	3	69	3	0	1	0	0	4	92.87%
	名古屋栄	68	0	71	0	0	3	0	0	2	91.79%
	名古屋名南	74	13	75	13	1	1	0	0	4	98.09%
	名古屋名駅	93	3	96	3	0	4	1	1	4	98.34%
	名古屋西南	46	6	49	6	0	3	0	0	4	95.74%
	12RC	1,098	30	1,142	34	15	49	4	5		94.56%

	クラブ		平均
平均出席率	81		94.71%

	クラブ名	会員数 2007年7月1日	会員数 7月1日女性	会員数 2007年9月末日	当月女性	入会 9月	入会 累計	退会 9月	退会 累計	例会数	9月出席率
東名古屋分区	名古屋北	96	0	96	0	0	2	1	2	4	99.67%
	名古屋東	82	0	88	0	1	6	0	0	2	95.24%
	名古屋守山	62	7	61	7	0	0	0	1	4	93.93%
	名古屋和合	98	0	99	0	0	1	0	0	4	86.20%
	名古屋名東	59	7	62	7	3	3	0	0	4	100.00%
	名古屋名北	48	7	48	7	0	0	0	0	4	96.21%
	名古屋千種	58	6	61	6	1	3	0	0	4	92.07%
	名古屋昭和	55	0	57	0	0	2	0	0	2	100.00%
	名古屋錦	33	6	35	6	2	2	0	0	4	84.09%
	名古屋東山	48	2	50	2	0	2	0	0	4	85.42%
	名古屋葵	24	0	26	0	2	2	0	0	4	100.00%
	11RC	663	35	683	35	9	23	1	3		93.89%
東三河分区	豊橋	119	4	119	4	1	1	0	1	4	93.97%
	蒲郡	57	0	57	0	0	0	0	0	4	90.39%
	豊橋北	90	2	94	2	2	4	0	0	4	98.15%
	豊川	66	0	70	0	1	4	0	0	4	97.32%
	田原	54	1	54	1	0	1	0	1	5	89.78%
	豊橋南	63	0	64	0	0	1	0	0	2	92.15%
	新城	50	0	50	0	0	0	0	0	4	90.50%
	渥美	36	0	36	0	0	1	0	1	4	82.58%
	奥三河	18	3	19	3	0	1	0	0	4	92.00%
	豊川宝飯	57	2	57	2	0	0	0	0	4	83.50%
	豊橋ゴールデン	59	0	59	0	1	1	1	1	4	99.51%
	田原パシフィック	63	0	63	0	0	0	0	0	4	98.18%
	豊橋東	45	0	44	0	0	0	0	1	4	80.81%
	13RC	777	12	786	12	5	14	1	5		91.45%
西三河中分区	岡崎	92	1	96	1	0	5	1	1	4	99.34%
	豊田	77	0	87	0	0	10	0	0	4	98.61%
	岡崎南	94	2	94	2	0	0	0	0	4	96.17%
	豊田西	99	0	101	0	0	3	0	1	2	100.00%
	岡崎東	62	0	61	0	0	0	0	1	4	93.14%
	豊田東	78	0	80	0	0	3	1	1	4	95.45%
	岡崎城南	75	0	75	0	0	0	0	0	4	97.14%
	豊田三好	22	2	22	2	0	0	0	0	2	92.86%
	豊田中	49	5	52	5	0	3	0	0	4	100.00%
	9RC	648	10	668	10	0	24	2	4		96.97%
西三河分区	刈谷	92	4	92	4	0	2	1	2	2	100.00%
	安城	60	1	60	1	0	0	0	0	4	100.00%
	西尾	71	1	72	1	0	1	0	0	4	93.75%
	碧南	79	0	80	0	0	2	0	1	4	99.27%
	一色	29	0	29	0	0	0	0	0	4	98.28%
	高浜	39	2	39	2	0	0	0	0	4	100.00%
	知立	65	0	66	0	0	1	0	0	4	100.00%
	西尾KIRARA	58	0	58	0	0	0	0	0	4	99.55%
	三河安城	56	6	57	6	1	1	0	0	4	93.50%
	9RC	549	14	553	14	1	7	1	3		98.26%

地区内クラブ数　81RC	2007年７月１日会員数	5,074名	内女性142	増加会員数（累計）	144名
	当月会員数	5,187名	内女性148	減少会員数（累計）	31名
	当月平均出席率		94.71%	差引純増会員数（累計）	113名

ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2760



表 紙 に 寄 せ て

街の芸術家　撮影 江崎 柳節

今年度のGSEはフランスのローヌ･アルプ･モンブラン地区と決定していて、まもなく地区大会に合わせて来日する。本来GSEは相手地区の地区大会の期間に合わせて交換する習わしになっている。しかし今年は双方の地区大会が同日であるので困ったが、向こうのガバナーAldoさんが快くこちらに譲ってくれた。地区大会は最も華やかなイベントなのだが、モンブラン地区は恐らく11月下旬は雪が深く、むしろ4月頃が素晴らしいと思うのでそのように御願いした。その時は当地区から大挙して向こうにいるGSEを応援に行こうと旅行団の募集を委員会で予定しているようだ。

パリ西RCにメーキャップしたときには私が床屋外科医A･パレの資料を探しに来た事を知ってロータリアンの中に偶然A･パレ記念病院の院長がおられて翌日訪問したときには大量のファイルやCD･ビデオなどを揃えて待っていて下さり幸運を喜んだことがある。ロータリアンっていいものだな、とつくづく感謝した事であった。Aldoさんの地区でも30人くらいのクラブにメーキャップしたことがあるが卓話がフランス語で、演題が“マキュアベリの政治理論”みたいなことで往生した事を覚えている。（柳節）

ガバナー事務所

〒485-0041 小牧市小牧五丁目253
小牧商工会議所会館5F
TEL0568-74-6111 FAX0568-74-6112
HP : http://www.rotary2760.org
E-mail : governor07-08@rotary2760.org